

走水小学校 跡地活用に関する地域説明会 議事録

■日 時：令和7年5月24日（土）14：00 ～ 15：40

■場 所：旧走水小学校 体育館

■出席者：地域住民など 32 名

FM推進課（事務局）課長 山中 理

主査 土田 正和

主任 岩崎 勝美

危機管理課 課長 小沼 裕司

大津行政センター 館長 竹内 智巳

教育政策課 課長 飯田 達也

■内 容：＜議題＞

（１）学校跡地に関する説明

（２）跡地活用等にかかる意見、質疑応答

概 要

1 開会

2 事務局挨拶

（FM 推進課長）

皆様、こんにちは。本日はお忙しい中、また天候が不安定な中、走水小学校跡地の利活用に関する説明会に足をお運びいただきましてありがとうございます。

私は財務部 FM 推進課長の山中と申します。よろしくお願いいたします。

皆様ご承知の通り、走水小学校はこの 4 月に馬堀小学校と統合いたしました。まずは、ご理解、ご協力をいただいておりますことをお礼申し上げたいと思います。

さて、統合を進めた結果ですが、本日ご来場いただいているこの走水小学校の施設につきましては、一部、これまで校庭や体育館をお使いいただいていた既存の団体さんに引き続き使っている部分や、いざという時の避難所の機能といったものは引き続き残してはいるものの、長期的な利活用の方向性はまだ決まっていません。

この後、担当者から、方向性を決めていくまでの検討の体制ですとか、あるいは走水小学校の施設の現状などについて、お手元の資料に沿いまして説明をさせていただく予定となっております。そして今日は、皆様から長期的にこの走水小学校の跡地がどういう場所になったらいいのかということについてご意見をお聞かせいただきたいと思います。

もちろん、できることとできないことは現実論としてはありますが、まずは地域の皆様のご意見、お考えを幅広くお聞かせいただくところからが跡地利活用の検討のスタートだと我々はおっておりますので、限られた時間にはなりますが、よろしくお願いいたします。

3 自己紹介

参加職員が順次、自己紹介

4 議 題

(1) 学校跡地に関する説明

(事務局)

資料に沿って説明。

(2) 跡地活用等にかかる意見、質疑応答

(質疑・意見交換)

- ・跡地活用にあたり、建物の取り壊しは前提になっているのか？

⇒ (FM推進課)

建物を解体するか否かは全く決まっていない。

- ・校舎は築 50 年と資料にある。小学校については、あと 20 年持つといった説明だったと思うが、いかがか？

⇒ (FM推進課)

教育委員会では学校校舎の耐用年数について、一つの目安として 80 年と位置付けており、これに基づいてこの建物を維持してきたことを踏まえれば、手を入れることによって、あと 30 年弱は使えるものと認識している。

- ・校舎を壊すのは非常にもったいない。南海トラフ地震は 30 年以内に 80%の確率で発生すると言われている。走水地区は津波で 300 世帯が家を失う可能性があり、水源もあるので災害時には役立つと思う。また、平時は陸上養殖施設としての活用ができるのではないかと海苔の陸上養殖なども考えてみてはどうか。東京湾が近いので、海水を引くのは容易。東日本大震災のようなことがあれば、海苔の養殖は地域を支える産業になるかもしれない。

- ・首都圏から来た。走水水源の水は真水か？それとも汽水か？また、PFAS の水質検査はされているのか？近隣に自衛隊の基地や学校もあるため、確認したい。

⇒ (FM推進課)

真水になる。PFAS の検査については承知していないので、上下水道局に確認する。

(浄水課に後日確認)

市内の水道水は全水源系統について、3 か月に 1 度、PFAS 検査を実施。なお、走水水源から走水小学校への導水は「ほたるの里」のみで、これは水道水（飲用水）でないため、水質検査は未実施。校内のその他水道は他水源からの導水で、検査対象となっている。

- ・地域住民の合意形成が最も重要だと思う。魚の学校や、アワビ、ナマコなど、地域の海の幸と連携しながら、津波避難センター、防災基地をテーマとした施設を提案したい。国や県、市の予算を投入しながら、アナログとデジタルを融合させたような、産業、農業、工業の振興拠点にできればと考えている。走水は葛飾北斎がかつて住んでいたという伝説や、ペリー来航などの歴史的な背景もある。国や海洋関係の独立行政法人の機関もあるので、皆さんが主体的に連携して、より良い利活用がされることを願っている。

- ・ 公共施設マネジメント戦略会議は全部局長で構成するということだが、定期的開催されているのか？

⇒（ＦＭ推進課）

施設再編など、全部局長が集まって検討が必要となる大きなテーマについて、不定期で開催している。

- ・ 資料４ページの赤い枠で囲ってある図について、左側が市、右側が地域という構成は分かるが、この間の曲線の矢印が何を意味するのか分からない。

⇒（ＦＭ推進課）

地域の方々、検討協議会でいただいた意見をＦＭ推進課が関係各課に持ち帰り、実現の可能性や効果などを検討、調整する。その後、部課長会議、場合によっては公共施設マネジメント戦略会議まで諮っていく流れになる。その結果については、協議会やホームページなどで共有する双方向のやり取りを想定している。

- ・ 資料３ページに「令和７年度内に跡地活用の方向性を決定」と断定的に書いてあるが、これは決定ではなく、決定したいという意思表示と理解してよろしいか？

⇒（ＦＭ推進課）

そのとおり。

- ・ 走水子どもたちは、馬堀小学校への通学にあたり、交通費は支給されているのか？

⇒（教育政策課）

小学校に通う場合の交通費については、通学距離が長くなることや、交通安全上の懸念があることから、基本的に定期券を支給している。また、付き添いをする１、２年生の保護者で希望される方全員と、その他のお父様、お母様で希望される方、必要な方にも定期券をお渡ししている。

- ・ この敷地、施設は公共施設として運営されていくのか？それとも、民間に売却されるのか？

⇒（ＦＭ推進課）

現時点では、公共施設として残すのか、民間施設とするのかは決まっていない。様々な方法があると思うが、例えば、公共施設として残しながら、運営は民間に委託して、民間のノウハウを取り入れながら柔軟に運営していく方法もあると思う。

- ・ 最初から制約条件を示してもらったほうが跡地活用を考えやすいのではないか。市は、これまでも学校跡地の活用について検討した経験があるはずで、そういった検討事例も踏まえて、課題や制約条件を明示していただきたい。

⇒（ＦＭ推進課）

制約条件で言えば、レッドゾーンエリアには建物を建てるのが難しいという制約がある。用途地域も、走水小学校は第一種中高層住居専用地域で、この基準に従って土地の利用方法を考えなければならない。具体的には、資料１２ページにどういったものが建てられるか、建てられないかの例をいくつか挙げさせてもらった。これらが、現時点で制約条件としてお伝えできる全てと言ってよいと思う。また、制約条件ではないが、資料１３ページの跡地活用の大きな方向性として記載しているが、学校が地域の方々が集まる場、ある意味で地域の拠点のような場所として使われてきたことから、地域の皆さんが集まるコミュニティの拠点になると良いのではないかと考えている。

- ・これから夏になり、海水浴客が下の海岸に来ることがあるが、そのような人が入ってくる可能性もある。跡地の決定までにまだ時間があるようだが、それまでの間の施設の安全対策、防犯対策をどのように考えているのか。

⇒（ＦＭ推進課）

決定までの安全対策だが、現在も学校運営時と同様に機械警備を導入しており、防犯カメラも設置している。また、教育委員会職員が定期的に巡回して安全確認を行っている。

- ・学校前の砂浜沿いの道路は、2017年と2019年、千葉のゴルフ場のボールが倒れた時に土砂で道路が完全に埋まってしまった。カーブの箇所に防災カメラを設置してもらったが、当時は大変な災害だった。救急車も途中までしか来られず、地域の方々がショベルで土砂を撤去しようとしたが、全く歯が立たなかった。これは安全対策が全くできていなかったということ。その時の状況は、建設部に写真が残っているはず。温暖化の影響で水位が上がっているので、跡地活用は建物だけでなく道路というライフラインもセットで考えてもらいたい。

- ・年間の維持管理費はどのくらいかかるのか？

⇒（ＦＭ推進課）

本日、詳細な数字は持ち合わせていないが、体育館やグラウンドの利用に伴う電気代、水道代、樹木の伐採費用、警備費用などが主な維持費になる。

- ・校舎と体育館の建設費は？

⇒（ＦＭ推進課）

承知していない。

- ・レッドゾーンの擁壁の工事は県が行ったのか、それとも市が行ったのか？

⇒（ＦＭ推進課）

市による工事と認識している。

- ・擁壁工事の費用は？

⇒（ＦＭ推進課）

承知していない。

- ・先ほどの走水の水質の件だが、水道局に確認したところ、調査は行っていないとのことだった。1丁目の水は発がん性物質が含まれているということで、飲料水には使えない。ただし、災害時には入浴などに使えるので、災害用の拠点として活用すれば、非常に優れた場所になると思う。3メートルの津波であれば、横浜や川崎も水没しているということなので、走水小学校の海拔5メートルの高さがあれば、かなりの人が助かる。300世帯が1ヶ月生活することを考えると、この建物は有効に活用できると思う。

- ・今回の説明会の進め方に大変不満を持っている。設定時間が一人5分以内、そして残り時間が30分しかない状況で、本当に地域住民の意見を聞くことができるのか疑問だ。開始から10ヶ月も経っているが、課長が話されたことはもっと以前にできたはずで、住民に考える時間を与え、より多くの人々の声を聞くべきだと思う。10ヶ月も経ってこの状況は、納得ができない。統合の際も説明会が2回あったが、従来の統合とは違い、走水小学校は大規模校が小規模校に吸収されるということではない。教育的な人数だけの話ではなく、地域の特性、歴史、文化、自然など、全体的な議論が必要。卵で言うと、殻の部分だけの議論で学校を決めていく、

白身や黄身の部分、肝心な部分の議論が少なすぎるため、地域住民との合意形成がされないまま実施されることに疑問を感じる。子どもたちへの配慮は、できる範囲でやっていただいて大変ありがたいと思っている。しかし、多くの人の意見を聞くと言いながら5分以内とか、あと30分で議論が終わってしまうのはどうなのか。話したいことがたくさんあるが、統合問題の際、自然や文化、歴史について話をすると、それは関係ないからやめてくれと地域からも市からも言われ、とても寂しく残念に思った。学校名が馬堀小学校になった。校章も校歌も変わらない。これで新しい学校と言えるのか。馬堀を歴史的に見ると、池月のこと。走水の村に定住した馬のこと。元暦元年の12月頃に、そこに泳いできて、上総の国の嶺岡の洞窟から、町の人に追い払われてマツザキに上がった。そこは田んぼや清水、湧き水が出ていて、とても素晴らしい場所だった。走水の唯一の田んぼだった。そこで水を飲み、小原台に上がった。小原台は大根やじゃがいもなど、走水の住民79軒の人たちが耕して作っていた。それを食べて困らせていた。だから、馬と仲良くして、鹿の皮の色をした美しい馬として可愛がっていたが、我慢できなくなって捕まえようとした。しかし、捕まえられなくて、下の方の村に行って、深い谷に逃げ込んで、とうとう捕まった。だから、あれは走水の馬、走馬。その走馬という名前ができない。あと1分か2分ですか？もっと大事な話をしたいのだが。

⇒（F M推進課）

申し訳ないが、時間を区切らせてもらった代わりに、今日、お手元にご意見、ご提案の用紙を置かせていただいた。

それは統合問題の時に懲りている。皆さんには知ってもらわないといけない話。私は教育委員会に3回ほど長い文章を送った。要するに、結論を急いではいけないということ。みんなに考えてもらって、みんなの声を集めてやっていかないと、一部の人のみで決めて、アンケートを書いて終わりというのはあまりではないか。

⇒（F M推進課）

言葉が足りなかった。いただいた意見は皆様に見える形で公開する。

あと1分だけ。今回、住民たちの意見を聞いて、馬堀小学校のための校歌を3番に入れもらった。堀口すみれ子さんが素晴らしい歌詞を考えてくれた。走水小学校の校歌3つが全て入っており、走水の歴史、文化、自然を全て含めた歌詞。これを聞いて、馬堀小学校へ行った子どもたちは、5年間は友達がいっぱいいて嬉しい気持ちと複雑な気持ちで、月の最初や月曜日に、みんなで心を一つにして、仲良く勉強しましょうねと校歌を歌っていたのが、突然違う校歌を歌う。それは辛いこと。楽しいこともいっぱいあるけど、残念なこともある。でも、5年10年経てば、全部消えてしまう。走水の良さや素晴らしさは、歌詞で残らない。それが残ったことが、私はとても嬉しかった。学校でお別れをする時に、校歌を涙で歌えなかった。胸がいっぱいで。堀口先生の3番を入れてもらえたことが、少し救いになった。これで未来の子どもたちに、少なくとも郷土を大事にする気持ちが細々とでも灯ってくれると思った。

- ・私は走水小学校に在職していた。「ほたるの里」を市も大変大事に考えているということで、それはとても良かった。ほたるの里はもう26、7年になるが、地域、PTA、もちろん子供たち、私たち教職員が中心にやらせてもらってきたが、皆様に愛されて持続していることは素晴らしい。文部省表彰を受けた自然教育の場として、この素晴らしい歴史をなくさないでほしい。少子化で統合、廃校する必要があったのかもしれないが、走水小学校は自然環境ではどの学校にも負けない。こんなに素晴らしい学校はない。焼き芋集会や、漁協に応援してもらって子どもたちがアサリ掘りや海の生物と触れ合って。一番大事なことは、子供たちが自ら命を考える機会を大事にしてもらうことだと思う。私が在籍していた時に「この小さな命を大切にする心を持とう、持続しよう」と言葉を残した方がいる。みんな一人じゃない、そういう気持

ち。今のご時世の日本で、子供が大事にされる世の中にしなければならないのに、「人数が足りないからしょうがない」とはいかないと思う。走水小学校 151 年の伝統だけではない。利用しようと思えば、色々利用できる。ここで私たちは校内キャンプもやった。ここで泊まり、海で遊び。この施設を他の形に流用するなんて、私は考えられない。今は心が病んでいる子どもたちもたくさんいる。なぜ、市はそういう子どもたちを対象に、この自然の中で心を癒し、良い教育ができるかを考えてくれなかったのか。それは走水の子どもだけではないはず。教育委員会を挙げて、神奈川県に誇れる学校として、ここの地域を子供たちのための癒しの場、教育ができるように変えてもらいたい。人数が少ないからではなく、閉校式ではどの子も一人ずつにスポットが当たった。私も学校教育を長年やってきたが、一学級 30 人から 35、6 人になったにも関わらず、なぜこのようにたくさん問題が起こるのか？走水の環境で育つと子どもたちは実に生き生きとしている。そういうことを教育の根本に考えていけば、世の中、明るい展望もあると思う。銭勘定だけで「しょうがない、閉めよう」となったことについて、私も納税しているからしょうがないとは思いますが、この場所は走水の自然環境を生かす場にしてもらいたい。温水シャワーもある。私たちはここで心を育む教育をしてきた。そういう環境をよく考えて。もともと小学校であることを活かした教育現場にしてもらいたい。

- ・徐々に地域も皆さん年を取ってきて、周辺にあまり店もないことから、買い物に大変苦労している方がたくさんいる。そのため、この建物を活かして、マルシェとは言わないが、例えば漁協の力を借りて野菜と魚の販売ができれば良い。また、高齢者は家に閉じ籠ってしまうことが多いので、歩く距離としてもちょうど良いと思っている。走水には桜の素晴らしいところもあるし、ほたるの里もある。桜などは地域以外からも人が見に来る。横須賀には他市から人が集まってきたので、こういった資源を利用することで地域の活性化につながってくると思う。
- ・活性化でトラックなどが入ってくる可能性があるかもしれないが、通行の便が悪いといった理由から砂浜を道路拡張でなくすことは止めてもらいたいし、自然環境を良い形で残してもらいたい。
- ・資料 13 ページの跡地の活用の大きな方向性で、「地域住民などが集うコミュニティ拠点としての機能」と「地域の活性化」が書いてあって、少し安心した。学校統合をずっと反対してきた、もう最初から統合ありきだったと感じたが、今となっては子どもたちが元気に通ってもらうことだけを願っている。
- ・この跡地の校舎を地域に開放してもらうことはできないのか？ 走水の町内会はそれぞれ自治会館があるが、さほど広くない。また、これまでは校舎内の PTA の印刷機を借りて町内の印刷物を印刷していたが、閉校時にすべて引き取れと言われ、印刷機は南町の自治会館に置いてある。管理人の問題などもあると思うが、校舎 2 階の端の部屋を貸してもらえれば、良い活動ができると思う。チャレンジルーム、あの部屋は本当に使いやすそうなので、町内会全体の事務所のような形でコピー機などを置かせてもらい、もう 1 つの利用方法として、子どもたちや高齢者が集まって何かできればと思っている。跡地活用の決定は 1、2 年後の予定となっているが、それまで校舎は一切開放しない方針なのか？

⇒（F M 推進課）

町内会の活動に近い活動であれば、校舎の利用について個別に相談に乗らせてもらうことはできると思う。

- ・近隣に居住しているが、夏になると違法駐車で自宅から車を出せなくなることがある。ここがどのような施設になるか分からないが、自宅前が渋滞することを懸念しているので、よく考えてもらいたい。
- ・先ほどの話は教室を借りて、町内会のスペースが確保できないか、そういう指摘だったと思う。確かに、3月までは2階にPTAの会議室があり、輪転機とコピー機が置いてあって、町内会の定例会のレジュメなどを印刷するのに大変重宝した。走水の6自治会それぞれに部会所があるが手狭となっているため、大きめの教室を1つ借りて。これは一時の話ではなく、跡地活用の決定後も町内会6団体で使うことができれば理想的と思っている。
- ・私は女川にいた時に東北の震災を受けた。先ほど、台風の際に砂浜の砂が道路に積もったとあったが、震災では、私はガードレールにひっかかって道の上に並んだ家の屋根をつたって逃げた。なので、漂流物は住民で片付けられるものではない。当時はたまたま原子力発電所などの工事でブルドーザーがあったので、それを一気に動かして人が歩けるようしていた。また、伊勢町から降りるところは山道で土砂崩れがあるため、逃げようにも逃げられない状況になるかもしれない。走水小学校も道が塞がれば陸の孤島になる。当然、電信柱が切れれば電源も切れる。寒い、熱いもあると思う。カーテンを外して、ぐるぐる巻きにして寝たとの話も聞いたことがあるが、そういったことを全部考えたうえで、ここを避難所にしようと考えているのか。とても甘いと思う。校舎の最上階に発電機を置いて非常時に発電ができるとか、水を飲みに行くにも土砂崩れが起きるところを通る必要がある。16号線を通すには非常時に重機をすぐに動かせる環境、津波が来ない場所などを踏まえないと、ここを避難場所にはできない。そこまで実現できるかをぜひ市には…、はっきり言って県の範疇だと思う。良いところとして、校庭をヘリコプターの避難所にできると思う。女川も高台の女川病院の駐車場に全国の防災ヘリが飛んできて、患者さんの運搬や私物を運んでもらって、菓子類などではあったが食べるに困らない状況にあった。ただ、震災では皆こういう施設に逃げ込んで、寒い中、濡れた状態だった。そうしたことを考えた上の避難所を考えてもらいたい。おそらく、養殖場などは電気が止まれば使い物にならない。それと入り口が坂道のドン付きにあるため、商業施設では交通事故が多発すると思う。信号機を作るぐらいのことを考えて計画してほしい。
- ・私はメールでFM推進課に意見を送ったが、今回の資料に添付されていない。「貴重なご意見ありがとうございました。」と返信があったが、個人的な意見についても皆さんに見てもらうことは1つの方法だと思う。当たり前なことだと思うので、やってほしい。それと、家を新築するには4,000万円ほどかかる。1坪100万円として20坪で2階建て。その資金を用意できる人はなかなかいないのではないかな。それで、ここを避難所として活用することは非常に大切なことだと思う。そのことを皆さんに考えてもらって。走水地区は準防火地域で、建物の建築には隣地境界線から基本的には3メートル離さないといけない。30坪の土地には20坪の家しか建てられない。20坪では全く家が建てられない。そのことを踏まえると、避難所を確保することは非常に重要だと思っている。
- ・私は子供食堂を運営しており、今日も子供食堂で200食の弁当を作ってきて、参加者は175名だった。それと関わることはないが、走水小学校の子どもたちの現状をお伝えしたい。今、2人の子どもが馬堀小学校に行くことを拒んでいる。「走水小学校に戻りたい、馬堀小学校の校門には入りたくない」と。その2人の子と私の孫が同級生で、一緒に遊ばせている。その時は元気だが、次の日には学校に行きたくないと言っている。一生懸命な仲間で「体育館を貸してもらって、みんなで遊ぼう」との話になったのが、体育館は貸すことはできないと言われた。子どもたちは苦しんでいる。それを住民が助け合って、行けるようにしてあげたいと思って

いる。環境が変わったことで、胸の小さい子供たちが苦しんでいる。そういうことも考えてもらいたい。走水の29名の子どもたちがここで一緒に遊べるのだったら、みんなで助け合っ
て子どもたちを守っていききたい。この現状を分かってもらいたい。走小学校を子どもたちがど
んなに愛していたか？私は子どもたちを守るために、元気で学校に行けるように導いていき
たいと思っている。教育委員会には、しっかり子どもたちのことを考えてもらいたい。小
さな学校だから、苦しいことがないわけではない。走水小学校にいた時にあれだけ元
気だった子どもたちがどのような思いをしているのか、それを考えてほしいと思う。馬
堀小学校の校長先生も色々してくれているが、私たちはこの地域の子どもたちを守る
ために頑張っていきたい。

- ・避難所とか投票所だとか、合同で使う施設とか、そういう表層の話は市が中心になっ
てやる。命を守る重要なことだから、それを住民に預けるのではなく、市が主導して、
地域から意見を聞いてきちっとやっていけばいいこと。もっと大事なことは黄身の部
分、白身の部分の論議、走水地域にこの跡地をどう活用するのかを議論しないと未
来がない。知恵と想像で未来は私たちが作れる。防災などはとても大事で第1に考
えること。市がしっかり考えて私たちが全面的に協力する。半年も1年もかけて話
し合うことではない。
- ・先ほど、女性から体育館に子どもたちを集めて使いたいとの話があったが、なぜ
使わせてもらえないのか？教育委員会が走水小学校の児童が集まることを嫌がっ
ているのか？あるいは、町内会から正式に要請がなかったから断られたのか？それ
と、走水小学校の施設はどの部署が管理しているのか、教えてほしい。

⇒（FM推進課）

まず、走水小学校の施設は、今年度は教育委員会の学校管理課が管理している。それ
と、推測も入ってしまうが、体育館については平日夜間と週末はスポーツ団体が従
前から多く利用している状況で、空きがないことから「難しい」との回答になっ
たかと思う。

4 閉会の案内

（FM推進課）

予定の時刻を少し過ぎましたが、本日の地域説明会はこれで閉会をさせていただ
きたいとします。

この場でご発言ができなかったご意見などございましたら、ご意見ご提案の用紙
にご記入いただき、大津行政センターの1階の多目的スペース、または走水小
学校の正門に回収箱を設置いたしますので、6月1日の日曜日までにご投函いた
だくか、または用紙に記載しているメールアドレス宛て、ご意見をお寄せいただ
ければと思います。本日の説明会の質疑応答や今後の検討につきましては、市
ホームページで公表をさせていただきます。

また、今後、跡地の利活用について方向性が見えてきた段階で、改めて地
域の皆様に向けて説明会を開催させていただきたいとしますので、よろしくお願
いいたします。

5 閉会の挨拶

（FM推進課長）

繰り返しになりますが、本日、この場でご発言がしきれなかった方がいら
っしゃるかと思いますが、そのような方につきましては、ご用意している用紙
にて意見をいただきたいというのが、まず1つ目のお願いになります。

用紙以外にも記載のメールアドレスにお送りいただければ、本日いただいた
ご意見と同様に受付をさせていただきます。

また先ほど、しっかり周知すべきとのお話もありました。頂いたご意見は整理したうえで、必ず市のホームページなどで周知をさせていただきたいと思います。この場で言い足りなかったこともあるかと思いますが、この場でのご発言と変わらない形で取り扱いをさせていただきます。

本日は厳しいご意見もいくつか頂きました。皆様から頂いたご意見は周知と併せて、地域の代表者等による跡地活用検討協議会にも提供のうえ、跡地活用の検討材料とさせていただき、今後、進めてまいります。

当初の予定より長い時間お付き合いいただき、誠にありがとうございました。それでは、本日はこれで終了とさせていただきます。

以上